

動物実験に関する現況調査票

和歌山県立医科大学

2019年7月

I. 動物実験に関する組織

機関長	職名： 学長		氏名： 宮下 和久	
事務担当者	職名： 総務課副主査		氏名： 漁野 雅俊	
同 連絡先	TEL 073-447-2300		FAX 073-441-0713	
			e-mail mryono@wakayama- med.ac.jp	
動物実験委員会	職 名	氏 名		カテゴリー*
委員長	准教授	磯野 協一		①
委員	教授	山田 源		②
委員	教授	岸岡 史郎		②
委員	教授	雑賀 司珠也		②
委員	教授	川股 知之		②
委員	教授	改正 恒康		②
委員	教授	柳川 敏彦		③
委員	准教授	宇都宮 洋才		①
委員	准教授	竹山 重光		③
委員	教授	平井 秀一		②
委員	准教授	木村 晃久		②

動物実験委員会のカテゴリー欄*には文部科学省基本指針で定められた以下の委員構成の番号を記入して下さい。該当がない場合には空欄にしておいてください。

- ① 動物実験等に関して優れた識見を有する者
- ② 実験動物に関して優れた識見を有する者
- ③ その他の学識経験を有する者

II. 機関における動物実験の概要

1. 動物実験を行う主たる研究分野

- 医歯薬学分野
- 畜産・獣医学分野
- 生物科学分野
- 理工学分野
- その他 ()

2. ①年度ごとに使用・飼養した実験動物の種類と概数

動物種	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数	飼養数	使用数
マウス総数	30,831	13,434	30,946	10,117	32,073	12,486	29,933	12,626	32,184	10,952
遺伝子組換えマウス	20,086	5,997	22,437	4,338	23,111	5,532	20,428	4,749	22,759	5,145
ラット総数	1,823	681	2,344	1,147	1,718	1,025	1,074	864	1,086	887
遺伝子組換えラット	549	83	386	8	70	8	42	1	163	4

モルモット	25	25	20	20	21	21	25	25	22	22
ウサギ	10	10	0	0	8	8	18	18	10	10
水棲動物 (ウシガエル、アフリカツメ ガエル)	64	64	75	75	40	40	40	40	40	40

飼養数は、自家繁殖数と購入数を含む。使用数は、飼養数の内、実際に実験に使用した動物数を示す。マウス・ラット総数は、遺伝子組換え・非遺伝子組換え動物を含む

②年度の特定日における飼養された実験動物の種類と概数

年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
計数日	2015/4/1	2016/4/1	2017/4/1	2018/4/1	2019/4/1
マウス総数	11,415	11,778	11,096	12,196	12,822
遺伝子組換えマウス	10,282	10,606	9,997	10,398	11,312
ラット総数	706	659	287	149	174
遺伝子組換えラット	391	69	0	16	73
モルモット	0	0	0	0	0
ウサギ	0	0	0	6	2
水生動物 (ウシガエル、アフリ カツメガエル)	48	64	0	0	0

3. 年度ごとの承認された動物実験計画数

動物実験計画数	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
新規承認の計画数	5 1	5 9	6 0	5 8	5 6
継続中の計画数	1 9 1	2 0 2	2 2 7	2 4 4	2 3 7

「継続中の動物実験計画数」には、「新規承認動物実験計画数」を含む。

4. 年度ごとの動物実験に関する教育訓練の受講者数

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
教育訓練受講者数	244 人	236 人	445 人	262 人	267 人

平成 30 年度利用講習会参加者数			
実施日	内容	人数	場所
平成 30 年 4 月 2 日	利用講習会	111	講義室 3
平成 30 年 4 月 13 日	大学院特別講義	23	臨床講堂 1

平成 30 年 5 月 10 日	教育訓練 (生物学実習)	50	三葛キャンパス生物学教室
平成 30 年 6 月 21 日	利用講習会	11	施設会議室
平成 30 年 6 月 28 日	教育訓練 (生物学実習)	50	三葛キャンパス生物学教室
平成 30 年 8 月 29 日	更新講習会	6	施設会議室
平成 30 年 10 月 10 日	利用講習会	4	施設会議室
平成 30 年 11 月 30 日	利用講習会	6	施設会議室
平成 31 年 2 月 1 日	更新講習会	6	施設会議室
	合計 9 回実施	合計 267	

5. 実験動物飼養保管施設(施設)の現況 (平成 31 年 3 月 31 日現在)

施設の総数 :	2 箇所	施設の総延べ床面積** :	<input type="checkbox"/> 300 m ² 未満 <input checked="" type="checkbox"/> 300 m ² 以上
---------	------	---------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------

** いずれかにチェックを入れてください。

施設の名称	管理者の職・氏名	実験動物管理者の職・氏名 (関連資格・経験年数)	動物種	最大飼養頭数 (概数)
動物実験施設	教授 (兼任)・ 金桶 吉起	准教授・磯野 協一 (理学博士・6年)	マウス	19000
			ラット	1600
			ウサギ	100
			サル	6
			ニワトリ	6
			水棲動物	80
ラジオアイソトープ施設・ 動物実験室	教授 (兼任)・ 金桶 吉起	准教授・磯野 協一 (理学博士・6年)	マウス	120

施設の所在地

所在地	施設の名称
和歌山市紀三井寺 811-1	和歌山県立医科大学動物実験施設
和歌山市紀三井寺 811-1	和歌山県立医科大学ラジオアイソトープ施設

飼養保管施設のあるキャンパスの主な所在地を記入ください。

飼養保管施設は、管理者および実験動物管理者による一体化した管理体制の下で、実験動物の飼養及び保管等を行う施設であり、一般的には動物飼育室の他、器具洗浄等の管理区域、実験処置室等を含みます。したがって、個々の動物飼育室を指すものではありませんが、全ての動物飼育室は、実験動物飼養保管施設に所属していなければなりません。一体化した管理体制による実験動物飼養保管施設であれば、同一敷地内の異なる場所にある動物飼育室を含むこともあり得ます。なお、哺乳

類、鳥類、爬虫類以外の動物の飼養保管施設はこの場合の数に含みません。

6. 動物実験に関する情報公開

当該情報の公開場所 (URL) : <http://www.wakayama-med.ac.jp/shisetsu/doubutu.html>

7. 国立大学法人動物実験施設協議会又は公私立大学実験動物施設協議会入会の有無

国立大学法人動物実験施設協議会会員

公私立大学実験動物施設協議会会員 (会員番号: 12-082)

その他(上記の会員ではない)

公私立大学実験動物施設協議会会員の場合は会員番号を記入ください。

8. 自己点検・評価報告書の作成に際して自己点検・評価事項チェック票での確認

URL : <http://www.m-kenshou.org/>

行った

9. 特記事項

(動物実験に関連した、機関の特徴や特殊事情)